

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I Le 曙 うみ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの充実	活動予定は組んでいるが、必要に応じてSSTを多くしたり、運動を多くしたりと目標の設定を見直しながら取り組んでいる。	活動の中で、参加できない児童への声掛けや誘導の仕方、場面に合った環境設定と職員間の連携、共通理解。
2	個別支援活動(集団に入るまでの支援)	支援の必要性を検討しながら、こども園への通園支援、保護者支援を実施している。	特定の職員に偏らず、全職員が同レベルで支援できるように自己研磨の意識を高めるとともに、研修や勉強会の機会を充実させていきたい。
3	クリニックと連携。専門職員との情報共有	クリニックの心理士と定期的にミーティングを行ない、支援の相談やクリニックへ受診依頼などを行っている。	グループ全体の勉強会を実施し、症例検討を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わりが少ない	施設の駐車場が少ないこと、提携クリニックの週末開院など保護者を招待することが困難な状況	近隣施設の借用や保護者遠足など施設外での活動を検討していく。
2	保護者への情報発信	今回のアンケートにおいて、実施はしているが、保護者へ周知できていない項目が見られた。職員全員で対応できるようにしていきたい。	マニュアルについては、保護者閲覧用を相談室に準備し、訓練の様子についてもお知らせやHPブログで発信していく。上記作業を全職員で対応できるようにしていく。
3	STによる個別の言語訓練の機会が減少	STの常勤職員の退職。	STの常勤職員の採用を進めていきます。